

好きです！



南関三小

学校教育目標

「やさしく・しっかり考え・たくましい
『南関三小っ子』の育成」

《育てたい力》

協力する力

考える力

やり抜く力

一粒から広がるお米作り体験 ～5年生、地域とともに

「チャレンジ！ もっと前進！」

5年生が総合的な学習の時間に稲作体験学習を行っています。普段食べているお米作りの大変さと大切さを肌で学ぶ、かけがえのない時間となっています。お米作りの大切な第一歩である「種まき（播種）」と「田植え」に挑戦しました。

まず、地域の福山正英先生の農業倉庫を訪ね、種まきを体験しました。機械で土を入れた育苗箱に、手作業で種籾を均一にまいていきました。重ならないようにまく難しさを感じながらも、一粒一粒を大切に、真剣な表情で慎重に取り組む子供たちの姿が見られました。まき終えた箱は、学校の専用プール苗床へ大切に運び、苗へと育てていきました。



そして、6月18日（木）、しとしとと雨が降る中、学校横の相谷の水田でいよいよ田植えの日を迎えました。福山先生をはじめ、相谷区の皆様や保護者の皆様、行政



の方々など、たくさんの温かい応援団に見守られながら田んぼへ入りました。慣れない泥の感触に足を取られそうになりながらも、「もっと前進！」とみんなで声を掛け合い、一株ずつ心を込めて丁寧に手で植えていきました。そこには、本校が大切にしている「協力する力」「考える力」「やり抜く力」がキラキラと輝いていました。相谷の保全会の方々や地域の方々、保護者など地域学校協働活動ボランティアの方々や南関町の行政の方々にもたいへんお世話になりました。

新聞投稿の取組

南関三小では新聞投稿を積極的に行っています。「地域で農業を営むお米先生の福山さんの丁寧な説明とお手本のもと、お米の種まきを体験した。トレーに土と種を入れ、上から土をかぶせる一連の工程を無事に終え、苗を育て次に行う田植えを楽しみにしていること。おいしいお米ができるまで、一生懸命にお世話をがんばりたいという決意」を綴った5年生の奈良原藍花さん「お米の種まき 次は田植えだ」【R8.5.25日付け熊日】が掲載されました。どうぞご覧いただきご一読ください。南関三小では国語科の授業や週末作文の取組を充実させ、子供たちの表現力を高めていきます。



南関第三小学校

